

平成16年度第5回理事会議事概要

日 時 平成16年8月20日(金) 13:30～14:00

場 所 特別会議室

出席者	理事長	田 中 潔
	理事(企画・総務担当)	藤 原 敬
	理事(森林研究担当)	桜 井 尚 武
	理事(林業・木材産業研究担当)	池 田 俊 彌
	監事	今 村 清 光
	監事	井 上 徹 雄
	企画調整部長	石 塚 和 裕
	総務部長	周 藤 眞
	事務局(企画科長)	藤 井 智 之
	事務局(総務課長)	加 藤 秀 春

1. 開会

2. 議事

(1) 第18回独立行政法人評価委員会林野分科会概要報告について

(藤原理事)

<資料1：第18回独立行政法人評価委員会林野分科会議事次第により説明>

平成15年度の業務実績に関する評価については、組織評価としてはA、3つの評価単位でbの評価を受けた。現在、評価コメントについて精査しているところであり、細かな内容についてはコメントを控えたい。

財務諸表については、評価委員からの特段の意見はなかった。

利益の処分については、若干の追加説明を求められたが、委員会として若干の意見を付すことになった。

(石塚企画調整部長)

評価コメントについては、分科会長預かりとなっているが、一部b評価になった事項についての評価コメントの修正、利益の処分のところでの説明が不足しているなど、若干の課題は残っている。来週中にはこれらの課題を整理した評価結果が示されると思う。

その他に事務事業の改廃について議論がなされた。農林水産省のスケジュールによれば、8月中に見解を取りまとめ、9月中に総務省の評価委員会を経て、その後政府へ示されることになっている。今回、その基となる見解のとりまとめ報告があり、これらも併せて整理の上、来週に行なわれる農林水産省独立行政法人評価委員会に示されると思う。

今回で平成15年度事業評価に結論が出たことになるが、昨年の例からすると、評価結果に対する対応方針を11月位に求められると思うので、来年度評価に向け、どう対処するのか今後検討していく必要がある。

また、役員の退職金の関係で、今年度以降の事業結果に対する評価基準にS評価を入れるといった評価基準の改訂があるということである。

(今村監事)

各省の評価委員会の間で、A、B、Cといった評価に対する重みづけの意思疎通というのは出来ているのか。それが出来ていないと評価にばらつきが出ると思うが、このあたりはどうか。

(石塚企画調整部長)

総務省政策評価・独法評価委員会としては、平成14年以後各独法に対する個別の意見を出し、さらに全体の意見を出すといった報告をしており、また、今年に関しては、研究開発法人、教育・指導・訓練法人、公共用物・施設設置運営法人、振興助成・融資法人の4つの機関に分け、評価をどう考えるかという研究会報告という形で出している。

(桜井理事)

各組織の評価委員会で、評価結果の反映の仕方についての議論がされているようだが、意思疎通ということが課題にはなっているようである。

(池田理事)

今回から役員退職金のように各分科会の評価結果が具体的に反映されようとしており、細かな部分の評価を除いては監事の言われた評価結果の標準化というものが進んでいくと思う。

(今村監事)

評価委員それぞれも違っており、全体として見れば評価委員も評価されている。評価の基準がしっかりしていないと、特にこれから中期計画が終わった段階での組織の改廃にも及んでくることになるので、この辺はしっかりとした方が良いと思う。

ところで、委員等名簿に臨時委員とあるが、これは何か。

(石塚企画調整部長)

評価委員会は政令で定めており、委員は30名以内と決まっているが、今年度から緑資源機構等が入った関係で、臨時委員を追加で任命しているということである。

(田中理事長)

今回で評価に関しては終わったことになるが、来年度評価に向けての課題もあるので、ここのところを今後しっかりとやっていきたい。

林野分科会の概要報告については、報告のあったとおりで了解する。

(2) その他

(田中理事長)

<資料2：平成16年度監事監査計画により説明>

監事より平成16年度の監事監査計画について、資料のとおり提出があったので報告する。

なお、今後の予定によっては日程の変更もあり得るので念のため申し添える。

次回平成16年度第6回理事会は9月17日（金）を予定する。

3. 閉会